

自然教育園見ごろ情報

2025年12月4日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

紅葉が見ごろを
迎えています!



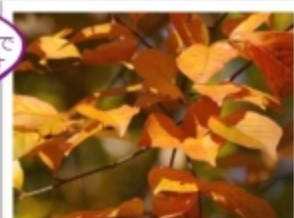
サルトリイバラ(実)

赤い実がよく目立ちます。西日本では、柏(かしわ)のかわりに、この丸い若葉で端午の節句の餅を包み柏餅とします。また、根茎は薬用にされるなど、昔からよく利用されてきた植物です。



ヒイラギ

柵(ひいらぎ)の漢字のとおり、冬に花を咲かせます。節分にヒイラギの枝とイワシの頭を戸口に刺し、魔よけに使うことで有名です。



カマツカ(紅葉)

オレンジ色に紅葉しました。材が堅く鎌の柄に使われていたことが名前の由来。昔には白い花が咲きます。



花
(4月)



カルガモ

街中の公園でもみられる身近なカモ。池にのんびり浮いていたり、水中に顔をつつこんで餌を探す様子などが見られます。

水辺で
見られます



イロハモミジ(紅葉)

「もみじ」の代表です。赤く綺麗に色づいた木が多くなってきました。イロハモミジの名前は、子どもたちがこの葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことによります。



ムサシアブミ(実)

トウモロコシのような形の赤い実が、ごろっと倒れています。赤くて美味しそうに見えますが、有毒で食べられません。

路傍植物園で
見られます



キチジョウソウ

吉祥草(キチジョウソウ)の名前は、「めったに花が咲かず、咲けば福である家に吉事がある」という言い伝えによりますが、園では毎年花を咲かせています。赤い実も見られますが、これは昨年つけたものです。



実
11~4月



ウバユリ(実)

乾燥すると3つに割れ、中には、タネが6列に綺麗に積み重なって整列しています。果実の裂け目はたくさんの筋で覆われていて、強風のときだけ飛ばされる仕組みになっています。

天然記念物及び史跡

科 自然教育園